

学習指導案

科目名	情報と科学	担当者		実施日	令和 5 年 7 月 15 日				
単元名	情報システムが支える社会	5 時間目	/	20 時間数					
主題	情報社会の中のさまざまなサービス								
本時間の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのデータベースについて具体例を挙げながら説明できる</li> <li>個人情報を提供する際のメリット・デメリットを理解し、自分で判断することができる</li> </ul>								
段階	分	内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点	評価				
					具体の評価規準との対応				評価方法
					関	思	技	知	
導入	2	データについて知る	<p>Q,データって何？ 定義を示す</p> <p>生徒にとって身近な事例から具体例を挙げ、データと情報の違いを考えさせる</p>	<p>定義を明らかにし、情報とデータが違うものであることを示す</p> <p>ストーリーに沿って説明する</p>					
		情報システムを支えるデータベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベース                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→何かを説明(定義を明らかにする)</li> <li>データベースの種類について(3種類)解説</li> </ul> </li> <li>身近なデータベースには何があるか                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本十進分類法</li> <li>蔵書検索システム(OPAC)について説明、実践</li> </ul> </li> <li>・住民基本台帳ネットワークシステム</li> <li>データベース管理システム</li> <li>教科書を見ながら1つずつ解説</li> </ul>	<p>生徒に問いかけながら解説を行う。</p> <p>OPACについては実際に自分の好きな本が図書館にあるか検索してみよう</p>					行動観察
展開	15	情報システムの信頼性を高める工夫	<p>用語の解説</p> <p>フォールトレランス (フェールセーフ・フェールソフト)</p>	データベース管理システムについての解説につなげて話をする					行動観察
		サービス利用と個人情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報                             <ul style="list-style-type: none"> <li>Q,個人情報に当てはまる情報 どのようなものがある？</li> <li>氏名、生年月日、年齢、職業、住所、連絡先(生徒から予想される答え)</li> <li>宗教、病歴、身体の特徴、公的な番号等</li> <li>→何かを説明(定義を明らかにする)</li> </ul> </li> <li>・プライバシー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→何かを説明</li> </ul> </li> <li>レコメンドーション機能</li> </ul>	<p>個人情報に当てはまり、生徒が想像しにくいものを例として挙げる(紹介する)</p>					行動観察
		グループワーク	<p>前提: サービスを利用するにあたり個人情報を提供</p> <p>Q,どのようなサービスを求めるか</p> <p>こんなサービスはしてほしくない(嫌だ)</p> <p>※最低2つずつ</p> <p>グループで意見をまとめ、全体で交流</p>	<p>KJ法を活用し、グループワークを行う</p> <p>色の違う付箋を2種類用意</p> <p>グループワークの様子を見ながら時間配分を行う</p>					グループワーク 行動観察
まとめ	3	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の感想</li> <li>GW: 自分の考えとほかの人の考えとの比較</li> </ul> <p>ワークシートに記入して提出</p>	グループワークの交流などから最初に考えたことと交流後の変化についてまとめてもらう					ワークシート